

思い出に残る都市づくり  
～道路と都市部を分離し特徴ある都市を作る～

はじめに

旅行で観光地などに行ったとき、その地域独特の雰囲気を感じることがあり、思い出として残りやすい。しかし、都市部では、自動車交通が多く、道路を基準とし都市を形成していることから、その土地特有の雰囲気を出すことが難しい状態にある。どのようにすれば、その都市特有の雰囲気を表現しやすくなるだろうか。

提案

自動車交通と都市部を分離し、都市部においては歩行者交通のみにする。

具体的には、都市部の外に幹線道路を通し、都市部のなかは自動車交通を禁止する。そうすることで今まで道路だった部分の有効活用ができ、かつ歩行者交通のみであるので、直線的な道路(歩道)を作る必要がなく、開発に幅ができる。

以上のことで、地域の特徴を出すことができるのではないだろうか。

その他の付加効果

- 周辺商店への来店率の向上による人の賑わいが期待でき、明るい街になる
- 車道を作らなくてよいので、バリアフリーなどの整備が十分に行き届く。
- 自動車を分離することで交通事故の減少に役立つ
- 自動車交通が都市部を通らないので、発進・停車が減り、CO<sub>2</sub>排出量削減になる
- 歩行者が移動できる範囲に限られることで都市のコンパクト化が進む